

高校ベンチャー留学2006～第1期生～

東京の社長に会いに行こう！この4日間の出会いがあなたの人生を変える！

★期 間 平成18年8月7日(月)～8月9日(水)の3日間
★参 加 今治市の高校生 7名
★内 容 8月7日(月)～8月9日(水)
東京ベンチャー留学2006 ETICプログラム

今回は、NPO法人ETIC. さんのご協力により、大学生を対象とした『東京ベンチャー留学』に、全国でもはじめて、「高校ベンチャー留学」として、今治の高校1・2年生が参加しました。

< 経営者直伝ゼミナール >

創業経営者が自分の生き方・働き方を直接伝える少人数型ワークショップです。なぜ、起業したのか、起業してから現在に至るまでの経緯、そして皆さん若い世代に期待することを熱く語って頂きます。経営者と学生が、一人の人間として親身に話し合えます！！



< 学生起業家・大学生との意見交換会 >

すでに社会で活躍している20代前後の学生起業家や、ベンチャー企業で実際にインターンを経験して成長した大学生と直接、話ができます。失敗談・悩みなどの身近な話から、若くてもやればできるんだ！という話まで聞くことができます！！



< ベンチャー企業訪問 >

ベンチャー企業のオフィスを訪見し、経営者から直接、話を聞くことができます。社会の第一線で活躍する社会人の方が働くオフィスを、実際にその目で見てみて、雰囲気を感じ取ることができます。ベンチャー企業の仕事場ってどんなところ？話だけではわからない一面が見られます！！



< 大学見学会 >

都内の大学施設の見学のほか、地方大学も含めた現役の大学生から学生生活や私生活について、生の声を聞くことができます。ぜひ、この機会に、普段、疑問に思っていることや思い、悩みを先輩にぶつけてみましょう！！きっと答えが見つかるはずです。



東京ベンチャー留学2006 プログラム

タイムスケジュール		
2006年8月7日(月) 高校ベンチャー留学 1日目(東京)		
時間	場所	概要・詳細
10:00~	オリビオセンター (代々木)	オリエンテーション ・3日間の心得 宮城 治男(NPO法人ETIC. 代表理事) ・今回のプログラムの確認、選択プログラムの確定 ・名札の記入など ・諸注意・誓約書捺印
11:00~		自己紹介&チーム名決定! ・チームメイト、自己紹介を行います。 ・ノートの使用方法など
12:00~		ゼミナールの決定 ・各担当コーディネーターによるゼミナール&講座紹介 ・参加をするゼミナールを決定
13:30~		ランチタイム
14:30~		自分のキャラを発見するワークショップ ・初対面の人から見られる自分のキャラとは・・・? ・4段階で自分のキャラを分析する。 講師: 細田 飛鳥氏(ETIC. コーディネーター)
17:00~		夕食
18:00~		目標設定ワークショップ ・3日間の目標を個人で決める。 ・全員目標をチーム内で発表
20:00~		物産展 ・全国の参加者のみなさんから、一言自慢?の一品を紹介してもらい、交流する
22:00		1日目終了

2006年8月8日(火) 高校ベンチャー留学 2日目(東京)		
時間	場所	概要・詳細
09:30~	オリビオセンター (代々木)	インターンシップガイダンス ・インターンシップとは? ・活躍するインターン生の紹介 ・学生時代を仕掛ける方法 講師: 佐々木 健介(ETIC. コーディネーター)
11:30~	移動	移動&ランチ
13:30~		ゼミナールA ※3チームに分かれる ①株式会社ガイアックス 執行役員 上田 浩司氏 ②元株式会社くふ楽 人材統括本部ヘッドコーチ 都築 学氏 ③株式会社ブックオフ早稲田 代表取締役社長 佐々木 真吾氏
15:30~	移動	
17:00~	①ETIC. オフィス ②渋谷 ③水天前	ゼミナールB ※3チームに分かれる ①NCAコンサルティング株式会社 代表取締役 石井 美鈴氏 ②株式会社VCN パートナー 杉浦 元氏 ③株式会社オークセール 代表取締役 COO 福島 誠司氏
19:00~	移動	
20:30~	浅草	懇親会
23:00~		2日目終了

2006年8月9日(水) 高校ベンチャー留学 3日目(東京)

時間	場所	概要・詳細
09:00~	①目黒 ②恵比寿 ③ウイメンズプラザ (表参道)	ゼミナールC ①㈱テジサーチ・アンド・アドバタイジング 代表取締役 黒越 誠治 氏 ②㈱ドリームフィールズ 代表取締役社長 関口 哲史 氏 ③NPO法人かものはしプロジェクト 代表理事 村田 早耶香 氏
11:00~	移動	
11:45~	ウイメンズプラザ (表参道)	面談割振り & チームプレゼンティスカッションタイム ※各チームごとにプレゼン内容の打合せを行う
13:00~		プレゼンテーション大会 ・各チームで3日間についてのプレゼンテーションを行う。 ・発表の結果、参加者の投票でグランプリチームを決定する
15:00~		個人プレゼンタイム & 個別面談 3日間の留学のフィードバックを行う。当初掲げた目標や仮説は自分自身で達成、確認することはできたか。全員尾前でそれぞれ感想・印象に残った出来事、出会いを発表してもらいます。また、今後のアクションについても発表してもらい、それぞれのアクションプランに対して、ETIC. スタッフがアドバイスや有用な情報提供を行う。
16:00~		3日目終了・解散

講師の紹介

ゼミナールA <8/8 13:30~15:30>
<p>①株式会社ガイアックス 執行役員 上田 浩司 氏 - お客様とよい関係をつくる「感動の営業」の極意について学ぶ - ■講師紹介： 昭和 46 年大阪生まれ。同志社大学卒業後イオン(株)勤務ののち家業を継ぐ。その傍ら、友人数人と京都や大阪でいくつかの起業にむけて実験を繰り返し、平成 11 年 5 月に実弟の現社長の祐司氏と(株)ガイアックスを設立。これまでに取引企業 300 社でネットコミュニティ運営の最大手に成長。現在は、数々の営業プロジェクト案件を纏め上げる。同時に、年間何名もの学生が弟子入りし、厳しくもあたたかい指導のもと営業修行を行っている。</p>
<p>②元株式会社くふ楽 人材統括本部ヘッドコーチ 都築 学 氏 - 日本一の愛と感動の溢れるお店作りの物語 - ■講師紹介： 1975 年 11 月 11 日、愛知県豊田市生まれ。大学卒業後、スノボをこよなく愛する都築氏は、大手スポーツ用品店に入社。そこで、様々な商品や店舗運営に関する提案をするもなかなか実現せず苦悩の日々を送る。ご両親が居酒屋を経営されていたこともあり、いずれは自分でも店を！という夢を実現するために、入社 2 年後に転職を決意。「ぐるなび」で大阪・名見耶・東京・神奈川・千葉のお店を片っ端から検索。「経営者のフィーリングが合うか」「生春巻きはメニューにあるか」の 2 点を軸に、全色の株式会社くふ楽の福原社長に出会う。入社後、銀座店の店長などを勤めながら、新業態「豚の大地」の立ち上げにも成功。同社の愛と感動のお店作り、そして、人材育成向上に大きく貢献。また、第 1 回居酒屋甲子園プロテューサーも努める。</p>
<p>③株式会社ブックオフ早稲田 代表取締役 佐々木 真吾 氏 - 学生時代だからこそ、「起業体験！」経営力をつける大学時代の過ごし方 - ■講師紹介： 演劇、芝居一色の大学生活から一転、全店舗の経営を任される学生ブックオフ制度を知り、経営の力を身につけるために門を叩く。ベテランアルバイトから信頼を得るまでの涙と苦闘の日々の末、現在は早稲田駅前店の店長であり、株式会社ブックオフ早稲田代表取締役として活躍中。</p>

ゼミナールB <8/8 17:00~19:00>

①NCAコンサルティング株式会社 代表取締役 石井 美鈴 氏

- 楽しくなくちゃ仕事じゃない！美鈴の『世渡り道場』 -

■講師紹介：

幼い頃からの夢は「専業主婦」大学1年時に学生結婚、専業主婦となり、子育てに専念。夫の転勤のために東京に上京。アルバイトで教育関係会社に就職。持ち前の面倒見のよさとトップの営業成績で、アルバイトながら係長に就任。その後、退社する際についてきた 部下と共に、1998年、NCAコンサルティング(株)を創業。全国2500名の専業主婦の方々のネットワークを育てながら、企業のアウトソーシング事業を行う。「自立」と「気づき」をテーマとして、中学生・大学生・教員等、インターン受入や講演活動を行っている。2001年には、対象を専業主婦だけにとどまらず、高齢者・子供・日本在住の外国人の方々等を対象にライフサポートを促進するNPO法人 美@nca を立ちあげ、更に精力的に活動を行っている。

②株式会社ブイ・シー・エヌ パートナー 杉浦 元 氏

- 『経営者』への最短距離~会社の未来を創り出す"ベンチャーキャピタリスト"という生き方 -

■講師紹介：

早稲田大学理工学部化学科卒。1993年、大学在学中にセミナー運営・物販を行う会社を設立、同社代表取締役就任。1995年に同社を離れ復学し、1996年3月大学を卒業。1996年4月、日本インベストメント・ファイナンス株式会社(現、エヌ・アイ・エフ ベンチャーズ株式会社)入社。投資部にて新興企業への投資営業を経験。1997年5月に同社を退職し、スカイネットアジア航空株式会社設立に参画。同社取締役として事業計画策定、資金調達、社内体制整備などに携わる。1999年6月同社退職。

1999年6月、株式会社ブイ・シー・エヌ取締役就任、2001年12月、株式会社ブイ・フォース代表取締役就任、現在に至る。

③株式会社オークセール 代表取締役 COO 福島 誠司 氏

- 消費者を動かす力！流通ビジネス(小売・卸)の醍醐味を体感する！ -

■講師紹介：

専門商社において、バイヤーとして様々な国で海外勤務を経験。様々な文化を持つ相手との交渉・取引を進めていた駐在時代に出会い意気投合。駐在時代に可能性を見出した「ショッピングの新たなかたち」に事業としてチャレンジすべく2001年創業。モノの価値を見抜き交渉する鋭い視点を武器に、事業スタート後、現在まで事業を拡大している。

ゼミナールC <8/9 9:00~11:00>

①株式会社テジサーチ・アンド・アドバタイジング 代表取締役 黒越 誠治 氏

- 「お店を持ちたい！」という夢を実現させませんか？カリスマ店長から盗む「モノを売る秘密」 -

■講師紹介：

同志社大学時代は計量経済学を研究し、論文が関西経済学懸賞論文大会で賞を獲得。卒業後入社したキャノン時代はそれを活かしたマーケティング活動も実施。

「特技は会いたい人には必ず会えること」。創業まもない黒越社長は、大物社長が出席するパーティーに潜り込んで提携を取り付けたこともしばしば。戦略的に物事を考え仕掛けて行くのが、とても得意で論理的思考も持ち合わせている。ETIC.では、インターン受入企業会員として、「カリスマ店長養成プログラム」でインターンを数多く育成、輩出。

②株式会社ドリームフィールズ 代表取締役 関口 哲史 氏

- 新しい価値観を世の中に提供したい。若い世代が活躍できる会社をつくりたい -

■講師紹介：

東大法学部卒業、東京三菱銀行出身。大学時代はダンサー。振付や舞台のプロデュースを行う。東京三菱銀行で財務、そして多数の会社の「ケース」を通じて経営の基礎を学ぶ。その後ネットプライスでバイヤー、モール立上げを経験しビジネスを学ぶ。2001年株式会社ドリームフィールズ設立。

楽天出店から2年でショップ・オブ・ザ・イヤー受賞。EC業界での講演、パネリストなども多数行う。

③NPO 法人かものはしプロジェクト 代表理事 村田 早耶香 氏

- カンボジアの子ども買春問題を解決するための IT 就労支援事業を展開。

新しい事業型 NPO でカンボジアの子どもを救う、若き社会起業家の挑戦！ -

■講師紹介：

大学2年の夏に、NGOのスタディーツアーでタイに行き、児童買春の被害の深刻さを目の当たりにし、この問題を解決したいと思うようになる。これをきっかけに、子ども買春に反対する活動を始め、東京女子大学学祭メインイベントでのパネリスト、国際連合学生連盟・春セミナー分科会講演者や、第二回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議・日本の若者代表になり、この問題の解決を訴える。大学3年の春、将来の方向性を考えている際に、現在共に活動している本木、青木、そしてETIC. インキュベーションコーディネーターの藤沢烈氏に出会う。この出会いから、「かものはしプロジェクト」が誕生した。かものはしプロジェクトとして、2002年東京都学生起業家選手権決勝大会出場、NPO法人ETIC.主催「STYLE2003」優秀賞受賞、「NEC学生NPO起業塾」参加決定等の受賞をする。また、2003年9月に行われた世界銀行の若者国際会議 youthdevelopment and peace (ydp) に日本の若者代表として参加する。

高校ベンチャー留学に参加して、東京の社長さんと出会ってどう感じましたか？



今治東高等学校2年生
門田 健太朗くん

まず初めに、今回の高校ベンチャー留学に参加してよかったなと思う。一生忘れられないと思う。

最初は、自分の心の中では不安が100%を占めていた。集合場所に行き、自分の座席についた時は、自分の班の大学生は、一人もいなかった。戸惑っていると自分とは話したこともない別の班の人たちが声をかけてくれた。早速用意していた名刺を一人の大学生と交換すると、その班の大学生全員が名刺を交換しよう、と言ってきた。全員と名刺を交換し終わったころには、自分の心は70%はすでに「これからの活動が待ち遠しい」という期待感に変わっていた。自分の班の人もやはり、気軽に話しかけてくれて、自分も大学生の話の輪の中に自然と入れるようになった。

コミュニケーションをとることが苦手な自分にとって克服するいいチャンスだった。そして、その苦手なコミュニケーション能力を向上させることができた。二日目、三日目には企業訪問もあり、参考になる話を聞けたが、やはり大学生の人達と出会えたことが一番の財産になると思う。それは、今回参加した高校生全員が思っている事だと思う。本当に貴重な経験になった。大学生にはもちろんだが、最後まで自分達をサポートしてくれた、地場産業振興センターの方々に感謝したい。



今治東高等学校1年生
大澤 進祐くん

高校ベンチャー留学に参加したからこそ得られたものは、すごく特別だと思う。ベンチャー企業の社長さんの話もそうだし、大学生との交流、コミュニケーションの重要性など言い出したらきりが無い。

大学生の人たちは思っていたより話しやすく、進路の相談にも真剣に意見してくれて、とても近い存在に感じることができた。この3日間で起こった様々なことは、今回参加しなければ得られなかった体験だ。

自信をもって「よかった」と言える。



明徳高校矢田分校1年生
鳥生 崇宏くん

私は高校ベンチャー留学に参加して、多くの経営者の方々や、大学生のみなさんから話を聞くことができ、私が出たかった、起業の際の資金集めの方法について一番大切なことを学ぶことができました。

その大切なこととは人脈です。この留学中で3人のベンチャー企業の経営者の方に話を聞きましたが、みなさんが口を揃えておっしゃったことが、「起業に必要なものは資金ではなく人脈」ということでした。

私は親がベンチャー企業をしていることもあり、起業をしたいと考えていました。しかし、その際に問題となるのは資金についてだと思っていました。その不安を取り除けたことが今回参加して得た一番の収穫です。今回出会った人たちと今後とも関わりを持ち、人脈を広げていきたいと思えます。



明德高校矢田分校1年生
片上 純くん

高校ベンチャー留学に高校生として参加して得たもの、それは自分の夢に対する自信でした。大学生との交流を通じて、お互いの夢を語り合い、アドバイスをもらい、時には「カッコいい」なんて言われたりもしました。その時のうれしさは、たとえば、山よりも高く、海よりも深い程のものでした。また、実際に学生でアパレルショップを運営されている方もいて、挑戦をしないと結果はでないということを教わりました。

企業の方々からは、大変貴重な体験談を聞き、仲間を信じることの大切さ、コミュニケーションの仕方、その他にもいろいろなことを教わり、それを自分の知識として吸収することができ、それが自信に変わっていきました。3日間は、本当に熱い意見が飛び交い、感動の絶えない日々でした。

高校生の方、ぜひ参加してみてください。自分の夢に自信がもてるようになりますから。



明德高校矢田分校1年生
小林 夢子さん

たった3日間。でも私が過ごしてきた15年間で最も濃い3日間になりました。友情、感動、進路、仕事、夢、今まで考えていたこととは違う、今まで付き合ってきた人とは違う、そんな世界に飛び込んでこれから生きていく上での重要なことを学びました。涙が出るほど感動する3日間、一番大切なこと、それは、価値観を受け入れること。とにかく自分と全く違っていようと吸収し、自分のものとする。たくさんの自分をもつ。そして自分自身がパワーアップし、価値観が増えていくことによって共有できる価値観が増え、人と人とのつながりが広がり深くなる。こんな考え、参加しなかったら得られなかった、こんな自分参加しなかったらいなかった、参加して良かったと本当に思います。参加して、やりたいことがたくさん見つかりました。前までの自分ならどれをやらうと迷ったでしょう。でも、パワーアップした自分は、全部やってやらうと思います。



明德高校矢田分校1年生
阿部 陽香さん

たった3日間だったけど、とても濃い3日間になりました。起業家の方のお話を聞き、心に残った言葉は「失敗をたくさんする、そして自分で成功する方法を探す。」です。そうやってこの方は成功していったそうです。私もたくさんすることに挑戦し、そしてたくさんことを吸収します。そして学生の頃にはいろいろな人に会い、たくさんの本を読んで自分を高めていきたいです。他には人との関わりが重要だと学びました。起業するのに大切なのはお金じゃなく人脈だそうです。どの経営者の方も人脈があれば資金は集まると言っていました。人との関わりはそんなにも重要なので、私もきちんとコミュニケーションができるように

したいです。「出会いとは必然。」高校ベンチャー留学で知り合った人達を大切に、これからもずっと続く関係にしていきたいです。この他にもたくさんことを学ぶことができました。高校ベンチャー留学に行けてよかったです。



明德高校矢田分校1年生
中村 斎くん

僕がこのベンチャー留学に参加した理由は、ただ「おもしろそうだから」という単純な理由からでした。

実際に行ってみると周りの大学生はみんな夢を持っていて、それだけでも自分に刺激を与えてくれました。また、3人の社長から起業するにあたって、人脈やコミュニケーション力、友情が大切になってくるということについて詳しい話を聞きました。そして、3人の社長が異口同音に言ったことは、「自分のやりたい事やって、他人に喜んでもらう」ということでした。それを聞いて「僕も何か起業して、他人の役に立ちたい」という気持ちが起こってきました。このベンチャー留学に行っても得たものは多く、今後の人生について考えていたことを大きく変えるものになりました。そして、考えることも大切だけれども、やはり一番大切なことは行動することだということに気付き、これからの生活につなげていきたいと思っています。